

次の文章を読み、まずこの文章の要点を述べ、次に英語教育の意義についてのあなたの考えを述べなさい。全体で600字以上800字以内で書きなさい。

私が宇宙飛行士の候補者として訓練を始めたのは一九九二年のことです。それまで海外旅行はしたことがありませんでしたが、せいぜい一週間程度で、海外の駐在経験もありません。リスニングについてはある程度はできるかなと思っていました。しかし訓練に入っただけで、だめだと思われませんでした。それはスペースシャトルの打ち上げのシミュレーションをする訓練のことです。操縦室に私を含む四人の訓練生が乗り込み、打ち上げの準備をしていました。事前にシステム操作の概要については予習していましたが、どのような手順で何をやらなければならないかはわかっていません。それなのに、訓練開始後、スペースシャトルの各システムがいまどのような状態になっているのかという全体的な状況把握ができなくなったのです。これは致命的です。宇宙飛行士に限らず、何かモノを動かすときに一番重要なのは「状況判断能力」です。いま何が起きているのか。状況把握を失うことは宇宙では死を意味します。いかにシステムの勉強をしても、英語が聞き取れないだけで最悪の事態となりうる。これは本当にまずい強い危機感を抱きました。システムの勉強は一夜漬けでも何とかありますが、英語はそうはいかない。地道にやるしかない。ただ専門用語を覚えればいいというのでもありません。会話には米国人特有のジョークも入ってくる。冗談なのか、必要な会話なのか一十年前の米国での訓練の最初は分かりませんでした。そこで何をしたらか。とにかく現場に入っただけで、英語に慣れていくしかない。なるべく多くシミュレーターで訓練をする。ジェット練習機の操縦訓練の時もコックピットの中の会話を全部録音させてもらい、通勤のとき、車の中で何度も何度も聞く。米国人宇宙飛行士の仲間とたくさん話す。そうした地道な努力を重ねながら、英語を身につけていきました。

スペースシャトルは英語で大丈夫ですが、国際宇宙ステーション（ISS）の長期滞在となると、もう一つの言語を使えないといけません。ロシア語です。英語で苦労した分、ロシア語は多少、楽に感じました。語学というのは、一つの言語を習得できれば、その手法を別の言語にも応用することで第一外国語よりは効率的に身につけることができるものです。もちろん、中学生から勉強してきた英語と、まったく白紙の状態から始めたロシア語では私にとって難易度が異なりますが、勉強すべき手順が分かっていたのは大いに役に立ちました。基本的な語彙と文型を習得し、聴解力を身につければ、ある程度の会話はこなせます。あとは語彙を増やし、文法をより正確に扱い、聴解力、会話力を高めていく。人間は感情的な生き物です。その言葉が話せるかどうかで相手の印象も変わります。

例えばこんなことがありました。ISSへの飛行が決まる前、既にISS滞在経験がある米国人の同僚にISS飛行に向けた訓練について質問しました。すると彼は「システムの勉強は時間的に無理なくできるから、まずはロシア語をマスターした方がいい」と。ロシアの宇宙関係者の中には、「ロシア語を使いこなせる外国人宇宙飛行士はロシアの宇宙船システム操作についても習熟しているはずだから、母国の宇宙船の操作を安心して任せられる」と考えている人が多い、と話してくれました。それくらい、コミュニケーションツールである言語は重要なのです。

ISSの船長は、異なる文化的背景を持つ宇宙飛行士をまとめていかなければいけません。しかし、文化や習慣の違いというのは、実はそれほど大きなものではないと思います。多くの国の方々と一緒に仕事をしていると、国籍の違いよりも、個人差の方が明らかに大きいと感じます。こんな例え方ができると思います。ある人間の思考・行動・パターンの全体を卵だと仮定すると、国や文化、宗教、習慣の違いというのは、殻の部分にすぎない。卵の大部分は中身であり、この中身こそが、人柄の中核なのです。日本人であること、米国人であることによる違いよりも、Aさん、Bさんという個人の性格による違いの方が大きいということです。しかし、殻を割って中に入っていくためには言語や文化の違いを理解することは効果的です。でもそれさえ割ってしまえば、あとは卵の中身であり、個人差の世界です。その差を乗り越えるためには、私は「まかしのない直球勝負しかない」と考えています。「私はあなたの国の文化について勉強したけれど、ずっと住んでいるわけではないから知ったかぶりかもしれない。でも自分はこう思う。何かおかしいと思うのなら教えてほしい」。こんな風にストリートで勝負すれば、向こうも直球で返ってきます。明治維新のころなど、実際にそんなやりとりがあったのではないのでしょうか。人類は知見や技術力では確実に向上していますが、精神的には昔とそれほど変わっていない、と思います。今、私たちが個人的なレベルで苦労しているようなことは、先人たちも経験してきました。人間、真つすぐに正直につきあうことが、何より重要なのではないのでしょうか。